

## 8.6 自然との触れ合い活動の場

### 8.6.1 調査事項

調査事項は、表 8.6-1 に示すとおりである。

表 8.6-1 調査事項(東京 2020 大会の開催後)

区 分	調査事項
予測した事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度</li> <li>・自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度</li> </ul>
予測条件の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設配置計画</li> <li>・緑化計画</li> </ul>
ミティゲーションの実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画地の南東側に周辺住環境に配慮した緩衝帯となる緑地を形成し、隣接して交流広場を整備することにより、広がりのある緑地を形成する計画としている。</li> <li>・計画地東側に建設予定の有明親水海浜公園へつながる歩行者通路を整備する計画である。</li> <li>・計画地東側に整備される有明親水海浜公園との一体的な利用が図られるよう、周辺の自然との触れ合い活動の場を含めた情報共有に努める。</li> </ul>

### 8.6.2 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とした。

### 8.6.3 調査手法

調査手法は、表 8.6-2 に示すとおりである。

表 8.6-2 調査手法(東京 2020 大会の開催後)

調査事項	自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度	
調査時点	東京2020大会の開催後(2021年度)とした。	
調査期間	予測した事項	施設竣工後の2021年11月とした。
	予測条件の状況	施設竣工後の2021年11月とした。
	ミティゲーションの実施状況	施設竣工後の2021年11月とした。
調査地点	予測した事項	計画地及びその周辺とした。
	予測条件の状況	計画地及びその周辺とした。
	ミティゲーションの実施状況	計画地及びその周辺とした。
調査手法	予測した事項	既存資料及び現地調査により、自然との触れ合い活動の状況の整理による方法とした。
	予測条件の状況	現地調査(写真撮影等)、竣工図及び緑化図の整理による方法とした。
	ミティゲーションの実施状況	現地調査(写真撮影等)、竣工図及び緑化図の整理による方法とした。

#### 8.7.4 調査結果

(1) 調査結果の内容

1) 予測した事項

ア. 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度

計画地は未利用地であり、計画地内には自然との触れ合い活動の場は存在しない。また、事業の実施により、図 8.6-1、表 8.6-3 及び写真 8.6-1(1)～(3)に示す周辺の自然との触れ合い活動の場を直接改変することはなかった。

事業の実施により、図 4.2-5 (p.14 参照) に示すとおり、計画地の南東側には周辺住環境に配慮した緩衝帯となる緑地やこれに隣接した交流広場の整備を進めている。整備完了後には、広がりのある緑地が形成され、この緑化された空間は新たな自然との触れ合い活動の場として活用されるものと考えられる。

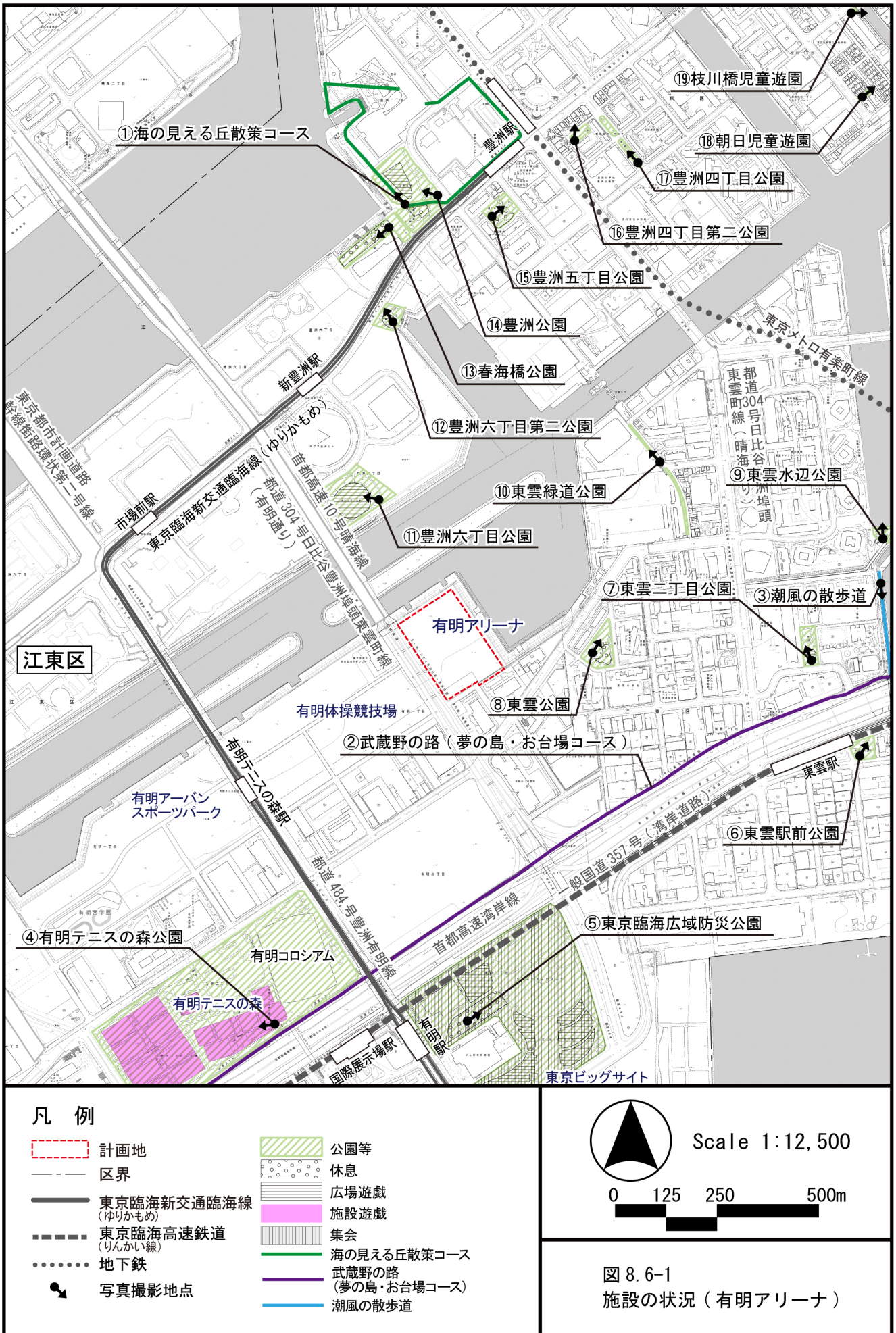


表 8.6-3 自然との触れ合い活動の場の名称及び位置

区分	番号	名称	位置	目的等
遊歩道、 道路	①	海が見える丘散策コース	豊洲駅ーアーバンドックららぽーと豊洲ーキッザニア東京ー観光船「ヒミコ」ー晴海運河（約 1.4km）	海が見える大型商業施設アーバンドックららぽーと豊洲や、こどもが大人になりきって仕事体験のできるキッザニア東京など、有名スポットを巡りながら、のんびりとした公園散策を楽しめる散策コース。
	②	武蔵野の路（夢の島・お台場）コース	葛西臨海公園ー若洲海浜公園ー夢の島公園ー辰巳の森海浜公園ー東京テレポートタウンーお台場ー船の科学館ー城南島（約 16.7km）	武蔵野の路は、自然・歴史・文化にふれながら東京を周回する全長 270km の散策路であり、夢の島・お台場コースは東京湾の眺望と共に海浜公園、スポーツ公園、史跡公園が連続する散策コースである。
	③	潮風の散歩道	江東区東雲 2-7（約 250m）	辰巳運河沿いの散歩道で、木製のベンチが設置されている。
公園、 児童遊園	④	有明テニスの森公園	江東区有明二丁目（約 163,000m <sup>2</sup> ）	芝生と木立の緑豊かなテニスコート中心の公園。
	⑤	東京臨海広域防災公園	江東区有明三丁目（約 132,000m <sup>2</sup> ）	首都直下地震等の大規模な災害発生時の防災拠点施設。
	⑥	東雲駅前公園	江東区東雲 2-8-4（約 2,300m <sup>2</sup> ）	東雲駅前に位置する街区公園。舗装された広場にベンチが設置されている。
	⑦	東雲二丁目公園	江東区東雲 2-7-6（約 3,600m <sup>2</sup> ）	東雲二丁目に位置する街区公園。遊具やベンチが設置されている。
	⑧	東雲公園	江東区東雲 2-4-17（約 5,600m <sup>2</sup> ）	東雲小学校、東雲第二保育園と隣接した街区公園。遊具やベンチが設置されている。
	⑨	東雲水辺公園	江東区東雲 1-9 先、辰巳 1-1 先（約 6,900m <sup>2</sup> ）	辰巳運河沿いに位置する街区公園。広場にベンチや遊具が設置されている。
	⑩	東雲緑道公園	江東区東雲 1-7-4（約 1,500m <sup>2</sup> ）	東雲 1 丁目に位置する、道路沿いの細長い街区公園。樹木の間には園路とベンチが設置されている。
	⑪	豊洲六丁目公園	江東区豊洲 6-2-35（約 16,200m <sup>2</sup> ）	東雲運河に隣接する街区公園。芝生広場のほか、遊具やベンチが設置されている。
	⑫	豊洲六丁目第二公園	江東区豊洲 6-2-1（約 4,000m <sup>2</sup> ）	東雲運河に隣接する街区公園。遊具やベンチが設置されている。
	⑬	春海橋公園	江東区豊洲 2 丁目（約 24,000m <sup>2</sup> ）	アーバンドッグららぽーと豊洲、江東区立豊洲公園、ガスの科学館と一体的に開発された、春海運河沿いの海上公園。
	⑭	豊洲公園	江東区豊洲 2-3-6（約 24,300m <sup>2</sup> ）	ららぽーと豊洲に隣接する街区公園。芝生広場やじゃぶじゃぶ池のほか、多様な遊具類が充実している。
	⑮	豊洲五丁目公園	江東区豊洲 5-3-1（約 2,000m <sup>2</sup> ）	豊洲五丁目に位置する街区公園。遊具やベンチが設置されている。
	⑯	豊洲四丁目第二公園	江東区豊洲 4-3-3（約 800m <sup>2</sup> ）	豊洲四丁目に位置する街区公園。遊具やベンチが設置されている。
	⑰	豊洲四丁目公園	江東区豊洲 4-5-24 先、豊洲 4-5-30 先（約 1,801m <sup>2</sup> ）	豊洲小学校に隣接する街区公園。桜並木のほか、遊具やベンチが設置されている。
	⑱	朝日児童遊園	江東区枝川 1-12-7（約 440m <sup>2</sup> ）	枝川一丁目に位置する街区公園。遊具や水飲み場が設置されている。
	⑲	枝川橋児童遊園	江東区枝川 1-14-21（約 170m <sup>2</sup> ）	平久運河沿いの枝川橋南西側に位置する街区公園。





①海の見える丘散策コース



②武蔵野の路（夢の島・お台場）コース



③潮風の散歩道



④有明テニスの森公園



⑤東京臨海広域防災公園



⑥東雲駅前公園



⑦東雲二丁目公園



⑧東雲公園

写真 8.6-1 (1) 施設の状況 (2021 年 11 月時点)





⑨東雲水辺公園



⑩東雲緑道公園



⑪豊洲六丁目公園



⑫豊洲六丁目第二公園



⑬春海橋公園



⑭豊洲公園



⑮豊洲五丁目公園



⑯豊洲四丁目第二公園





⑰豊洲四丁目公園



⑱朝日児童遊園



⑲枝川橋児童遊園

写真 8.6-1 (3) 施設の状況 (2021 年 11 月時点)

イ. 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度

計画地周辺では、計画地周辺の散策やジョギング等の自然との触れ合い活動が日常的に行われていた。計画地周辺の自然との触れ合い活動の場を直接改変することはなく、周辺地域における自然との触れ合い活動は継続された。

事業の実施により、計画地東側の有明親水海浜公園へつながる歩行者通路を整備したほか、現在、広がりのある緑を形成する交流広場の整備を進めている。整備後には、周辺の自然との触れ合い活動も含めた利用者の利便性が向上するものと考えられる。

2) 予測条件の状況

ア. 施設配置計画

施設配置計画は、「4. 有明アリーナの計画の目的及び内容 4.2 内容 4.2.3 事業の基本計画(1) 配置計画」(p.7 参照)に示したとおりである。

イ. 緑化計画

緑化計画は、「4. 有明アリーナの計画の目的及び内容 4.2 内容 4.2.3 事業の基本計画(7) 緑化計画」(p.13 参照)に示したとおりである。

3) ミティゲーションの実施状況

ミティゲーションの実施状況は、表 8.6-4 に示すとおりである。なお、自然との触れ合い活動の場に関する問合せはなかった。



表 8.6-4 ミティゲーションの実施状況

ミティゲーション	・計画地の南東側に周辺住環境に配慮した緩衝帯となる緑地を形成し、隣接して交流広場を整備することにより、広がりのある緑地を形成する計画としている。
実施状況	広がりのある緑地を形成するために、計画地の南東側に周辺住環境に配慮した緩衝帯となる緑地の形成や隣接した交流広場の整備を進めている。
ミティゲーション	・計画地東側に建設予定の有明親水海浜公園へつながる歩行者通路を整備する計画である。
実施状況	計画地東側に建設予定の有明親水海浜公園へつながる歩行者通路を整備した。
	
<b>有明親水海浜公園につながる歩行者通路</b>	
ミティゲーション	・計画地東側に整備される有明親水海浜公園との一体的な利用が図られるよう、周辺の自然との触れ合い活動の場を含めた情報共有に努める。
実施状況	計画地東側に整備される有明親水海浜公園との一体的な利用が図られるよう、外構インターロッキングの仕様を合わせる等、今後とも、周辺施設とも連携したにぎわい創出の拠点としていく。

## (2) 予測結果とフォローアップ調査結果との比較検討

## 1) 予測した事項

## ア. 自然との触れ合い活動の場の消滅の有無又は改変の程度

計画地は未利用地であり、計画地内には自然との触れ合い活動の場は存在しない。また、事業の実施により、周辺の自然との触れ合い活動の場を直接改変することはなかった。

事業の実施により、計画地の南東側には周辺住環境に配慮した緩衝帯となる緑地やこれに隣接した交流広場の整備を進めている。整備完了後には、広がりのある緑地が形成され、この緑化された空間は新たな自然との触れ合い活動の場として活用されるものと考えられる。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致するものと考えられる。

## イ. 自然との触れ合い活動の阻害又は促進の程度

計画地周辺では、計画地周辺の散策やジョギング等の自然との触れ合い活動が日常的に行われていた。計画地周辺の自然との触れ合い活動の場を直接改変することはなく、周辺地域における自然との触れ合い活動は継続された。

事業の実施により、計画地東側の有明親水海浜公園へつながる歩行者通路を整備したほか、現在、広がりのある緑を形成する交流広場の整備を進めている。整備後には、周辺の自然との触れ合い活動も含めた利用者の利便性が向上するものと考えられる。

以上のことから、予測結果とフォローアップ調査結果は、概ね一致するものと考えられる。